

北海道大野記念15日オープン



さまざまな分野の最新機器をそろえた

新病院の規模は、7,670m²。脳神経外科、心臓血管外科、循環器内科、消化器内科、婦人科、整形外科、呼吸器内科、糖尿病内科、外科、内科、婦人科、泌尿器科、腎臓内科、神経内科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、麻酔科、放射線治療科、放射線診断科、病理診断科、リハビリテーション科の21診療科を標榜する。

1階は、外来診察室のほか生理検査・画像診断室、ハイブリッド手術室を含めた8室の手術室、救急部門や札幌高機能放射線治療センターを設置。2階は、高度健診センターと18ベッドの透析室、ハイブリッド手術室を含めた8室の手術室、18床全て個室のICUなどが占める。3階はSICU、脳卒中センター、脳血管内治療センター、化學療法を整備し、4階は心臓血管センター、5階は

には脊損センター、消化器・呼吸器センターに加え、カロライナ脳神経研究所、デューク大の教授を務める福島孝徳氏が定期的に手術を行う福島孝一を設ける。6階はレディースフロアで、婦人科検査から治療までのあらゆる分野で、現時点で用意できる最新の設備を整えた。北海道初の3テスラ術中MRIを導入し、ナビゲーションシステムと併用して、正確で安全な手術につなげる。

がんセンターとなる。検査から治療までのあらゆる分野で、現時点で用意できる最新の設備を整えた。北海道初の3テスラ術中MRIを導入し、ナビゲーションシステムと併用して、正確で安全な手術につなげる。

がんセンターとなる。検査から治療までのあらゆる分野で、現時点で用意できる最新の設備を整えた。北海道初の3テスラ術中MRIを導入し、ナビゲーションシステムと併用して、正確で安全な手術につなげる。

釧路市で釧路孝仁会記念病院などを運営する社会医療法人孝仁会（齋藤孝次理事長）は、西区宮の沢2条1丁目16-1に「北海道大野記念病院」を15日オープンする。院長に大野猛三心臓血管外科センター北海道大野病院院長が就任。病床数は276床で、2018年夏以降には陽子線治療を開始する予定だ。

国内有数の最新設備

18年夏以降に陽子線治療

が得られる64列PET-CT、最新プラットフォームのIVR-CTを用意。高精細な時間分解能で、4~5mmの乳がんを発見できる乳房用PETもそろえる。

がん治療の最先端装置として、サイバーナイフ、トモセラピーシステムを備え、陽子線治療装置が18年夏に稼働を開始すれば、国内でも有数の放射線治療体制ができる。

今後は、地下鉄東西線宮の沢駅直結の商業施設内で15年にオープンした札幌西孝仁会クリニックが外来機能を担い、新病院は高度急性期に特化。札幌市という地の利と充実した設備を生かし、積極的に医師確保に努め医師不足が深刻な地域への派遣なども推進していく。